

(様式2)

支 部 事 業 報 告 (砺波・南砺・小矢部支部合)	開催日	2019年11月30日(土)
	時間	9:30～11:30
	場 所	北陸中央病院講堂
テーマ	看護連盟の活動について理解を深める	
参加対象者	会員・非会員	
参加人数	79名	
事業目的	看護連盟の役割を理解し活性化を図る	
研修会名	令和元年度 第3回富山県看護連盟 砺波・南砺・小矢部支部合同研修会	
参加対象者	会員・非会員	
参加者数	会員 74 名 非会員 5 名	
主 催	富山県看護連盟 砺波・南砺・小矢部支部	
事業(研修)目的	富山県看護連盟の県外研修の取り組みを知り看護連盟の活動に関心をもつ アドバンス ケア プランニングについて理解を深める	
研修方法	講演 グループワーク	

【内 容】

報告:富山県看護連盟の県外研修に参加して
報告者:北陸中央病院 看護師 田畑真利子氏

県外研修に参加して、JNA会館見学、国会議員との交流、首相官邸表敬訪問、国会見学などの紹介。

JNA会館の見学では職能団体として意識が高まったこと。富山県代表の議員や石田まさひろ議員と直接会うことで政治への関心が高まり、政治を身近に感じたと感想を話された。

写真での説明でわかりやすく、県外研修へ参加したくなるような内容であった。

講演:「アドバンス ケア プランニング(ACP)について」

＊グループワーク【もしバナ ゲーム】

講師:北陸中央病院 緩和ケア認定師 中村香織氏

協力員:富山県看護協会緩和ケア認定看護師会砺波支部会員

ACPについての経緯、現状、メリット・デメリット、タイミング、「もしバナ」ゲームの進め方などの説明。

その後12グループに分かれて「もしバナ」ゲームを実施。1人ずつカードを選び自分の価値観を考えながら話し、それを聞き終えたグループメンバーからは拍手が起こっていた。また富山県看護協会緩和ケア認定看護師会砺波支部会員の方に各グループを担当して頂き、有意義な話し合いが行えていた。



まとめ:県外研修でのJNA会館や政治活動現場を体感した報告をうけることで、政治への関心と看護連盟の活動に対する関心に繋がったと考える。

アドバンス ケア プランニングについては、「もしバナ」ゲームを通して、自分自身の価値観を考えるきっかけとなったり、他人の価値観を聞くことで揺れ動く気持ちを体感できたりと、実践につながるような話し合いが多くされていた。11月30日(いい看取り・看取られ)の人生会議の日に、自分自身の人生の最終段階における医療・ケアについて考えることができていた。